

【全体概要】

近年、消費者から高い評価を受けている「シャインマスカット」について、低品質のものが市場で出回る事例が増えており、産地ごとの評価差が広がっている。そこで、高品質な「シャインマスカット」の安定生産技術を確立し、その技術を普及することで本県産の市場評価を高め、ブドウ農家の収益向上、ひいては産地規模の維持・拡大を図る。

新品種・新技術等の概要

「シャインマスカット」

○開発者 農研機構

○開発年(育種完了年)

平成18年に品種登録。

○2倍体の黄緑色の欧州系品種

○果肉は崩壊性でマスカット香があり、糖度は20度前後となり、食味が優れる。

○ジベレリン処理による無核化が可能で、果皮ごと食べられる。



主な取組内容

【実証展示ほ設置(4月)、現地検討会(6、8月)】

- ・実証ほの設計(5普及指導センター10ほ場、5～9月)
- ・関係者による実証ほの現地調査。

【実需者との意見交換(8月)】

- ・市場関係者と意見交換を行い、市場性を調査。

【成績検討会(9月)、成績報告会(10月)】

- ・実証結果を関係者で検証し、検証結果を生産者代表に報告。

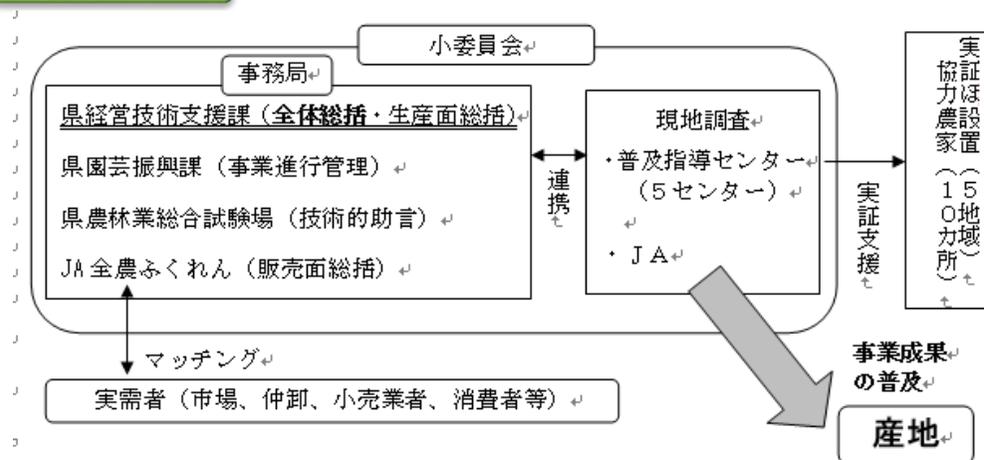
【先進地調査(12月)】

- ・主産県である山梨県における生産状況や販売の動向を調査。

【栽培マニュアル案の作成(1月、3月)】

- ・実証結果や先進地調査結果等を基に、マニュアル案を策定。

実施体制図



実績と今後の展開

【実績】

- 栽培マニュアルの作成による果実品質の向上
- ・実証試験の結果を基に、栽培マニュアルを作成し、栽培技術を確立し、高品質果実による高単価を実現。
単価 H30年度 1,533円/kg → R2年度 1,806円/kg
- 栽培面積、生産量の増加
- ・栽培面積 H30年度26ha → R2年度40ha
- ・生産量 H30年度260t → R2年度473t

【今後の展開】

- 果実品質の高位平準化と産地規模の拡大
- ・栽培マニュアルを活用し、果実品質の高位平準化と栽培面積の拡大を図り、「巨峰」と並ぶ福岡県を代表する品種としての地位を確立する。